

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 南天神校

%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0.0	100.0	0.0	部屋割をして対応しています。(個別)
	2 職員の配置数は適切であるか	100.0	0.0	0.0	基準では足りています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0.0	100.0	0.0	バリアフリー化はされていません。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0	0.0	0.0	活動報告書に記載して振り返りをしています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0	0.0	0.0	年に1回保護者からの要望を聞いて改善点を話し合っています。
	6 この自己評価表の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	100.0	0.0	0.0	ホームページに掲載しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0.0	100.0	0.0	今後やれるといいです。検討している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0	0.0	0.0	外侮研修、内部研修、ZOOMでの研修など行っています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0	0.0	0.0	子どものすがたアンケートやサポートブックを用いて意向など話し合い計画書を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100.0	0.0	0.0	使用しています。問題点や改善点に繋げています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0	0.0	0.0	職員会議などで話し合い考えています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0	0.0	0.0	固定化にならないように、知識や技能を深め多様性のある支援活動にしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100.0	0.0	0.0	休日や長期休みは調理や外出活動を取り入れて、平日は個別課題を取り入れています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0	0.0	0.0	子どもの発達段階や特性に合わせ活動プログラムを作成しています。保護者からのニーズにお答えしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0	0.0	0.0	平日は14時から。学級日は支援前に職員間で申し送りを行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100.0	0.0	0.0	活動報告書を用いて記録をとり、職員会議で共有しています。支援後反省会を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0	0.0	0.0	活動報告書や連絡帳(リトム)にて記録を取っています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0	0.0	0.0	担当者会議を行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100.0	0.0	0	ガイドラインの読み合せを職員会議で行っています。指導部研修会の社員研修に掲げています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画にしているか	100.0	0.0	0.0	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100.0	0.0	0.0	送迎時や新年度、担任変更時に積極的に連携に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0.0	100.0	0.0	現在、利用者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100.0	0.0	0.0	中央親子教室に出向き、連携を取っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	17.0	83.0	0.0	就労見学に行っています。(夏休みを利用して)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100.0	0.0	0.0	中央親子教室で研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0.0	100.0	0.0	あまり機会がないです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0.0	100.0	0.0	関市子ども部会などで参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0	0.0	0.0	保護者とは年2回面談を行っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0.0	17.0	83.0	機会がなく出来ていません。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0	0.0	0.0	契約時に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0	0.0	0.0	面談を行い、困りごとなどお聞きします。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0.0	17.0	83.0	出来ていないので次年度は開催出来るようにしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を警備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0	0.0	0.0	保護者に報告しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0	0.0	0.0	ホームページやInstagramにて掲載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0	0.0	0.0	会議で学習会を行い周知しています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0	0.0	0.0	連絡帳（リトム）や送迎時に保護者に伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか	0.0	100.0	0.0	機会がなく出来ていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100.0	0.0	0.0	マニュアル作成し、職員会議にて周知しています。保護者には文書で出しています。（感染症マニュアル）
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0	0.0	0.0	年1回消防署の方に出向き、訓練を行っています。事業内でも避難訓練を行っています。防災センターでも消火器の使い方や体験をして来ています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0	0.0		虐待防止委員会を設置している。虐待チェックシートを月1回職員は行い、研修会もしています。
	41	どのような場合にやむお得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0	0.0	0.0	保護者に報告しています。同意書を取り個別支援計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対策がされているか	67.0	33.0	0.0	対象者の利用者は自宅からおやつを持って来られます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0	0.0	0.0	職員会議で共有しています。3か月・6か月後の振り返りも行っています。